



使用上の注意 本剤は強力な酸化剤(無機系塩素剤)ですので次の注意事項をよく守って下さい。



してはいけないこと

- 混合禁止：他の物質、特にシアヌール酸や塩素化イソシアヌール酸系消毒剤(スタートリクロン、スターダイクロン、スウィーパー、ハイライト、ネオクロール、ベースサン、メルサン、ボンシロール、サンプラント等)との混合は絶対に避けて下さい。急激な有毒ガスの発生、爆発する恐れがあります。
- 接触禁止：可燃物(火気、熱、酸、アルカリ、還元性物質、グリース類、油、ポロ布等)とは、直接触れないようにして下さい。爆発、発火することがあります。
- 詰替禁止：他の容器への詰め替えをしないで下さい。
- 高温吸湿：「プロアー室、ポンプ室」等には絶対に置かないで下さい。
- 刺激性：眼、鼻、口に入らないようにして下さい。
- 保護具：直接手で触れないで、ゴム手袋、保護メガネ、マスク等をご使用下さい。
- 開放放置禁止：本薬剤は使用開始直前まで開封しないで下さい。



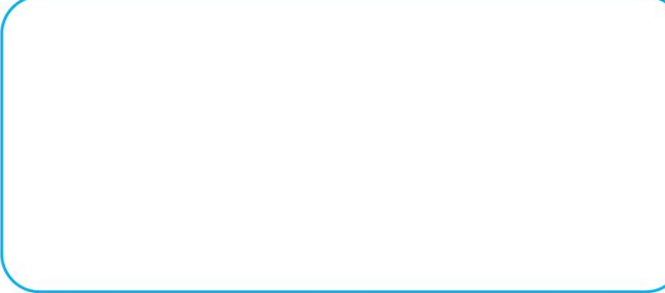
そうだんすること

- 次の場合は医師に相談し、診察を受けて下さい。その際、本剤は「次亜塩素酸カルシウム(一般名：高度サラシ粉)」であることを告げて下さい。
- *誤って眼に入った場合
充分洗眼し、すぐに医師の診察を受けて下さい。
- *誤って皮膚に付着した場合
直ちに払い落としてから、水道水で十分に洗い流して下さい。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けて下さい。
- *誤って飲み込んだ場合
すぐに医師の診察を受けて下さい。

保管及び取扱上の注意

- *混合禁止：他の容器への詰め替えを避けて下さい。他の物質、特にシアヌール酸や塩素化イソシアヌール酸系消毒剤(スタートリクロン、スターダイクロン、スウィーパー、ハイライト、ネオクロール、ベースサン、メルサン、ボンシロール、サンプラント等)との混合は絶対に避けて下さい。急激な有毒ガスの発生、爆発する恐れがあります。
- *高温吸湿：吸湿しないように密閉し、冷暗所に貯蔵して下さい。雨漏りなどでぬらさぬ様、また高温を発する所(ボイラー室、プロアー室、機械室、及びストーブ、モーターの側等)に絶対に置かないで下さい。急速な分解または爆発の恐れがありますので十分に注意して下さい。
- *子供注意：子供の手の届かない所に保管して下さい。本剤に触れたり、遊んだり絶対にさせないで下さい。
- 腐食性：本剤は金属を錆びさせますので、陶器、プラスチック、ホーロー、ガラス製のきれいな容器を用いて下さい。
- 廃棄時：汚れた本剤はもとの容器に入れて全量使い切して下さい。残量を廃棄するときは必ず多量の水に溶かしてチオ硫酸ナトリウム等で中和してから捨てて下さい。また、他の塩素剤と混ぜて絶対に捨てないで下さい。
- 火災注意：ゴミ箱やゴミ捨て場に絶対に捨てないで下さい。火災の原因となります。火災が発生した場合は、現場から遠ざけて類焼を避けて下さい。消火の場合は多量の水をかけて下さい。
- 衣服付着：衣服についた時は、直ちに払い落とし、あとで充分水洗いして下さい。
- 輸送時：他の物質、特にシアヌール酸や塩素化イソシアヌール酸系消毒剤(スタートリクロン、スターダイクロン、スウィーパー、ハイライト、ネオクロール、ベースサン、メルサン、ボンシロール、サンプラント等)とは、混載しないで下さい。移動、保管の際は、包装容器が破裂するような荷積みや強い衝撃を与えるような粗暴な取り扱いをしないで下さい。また、他の容器への詰め替えをしないで下さい。配送中に乱袋等で本剤が露出した場合は、他の物質との接触を避け、乾いたプラスチックの容器に保管し、弊社までご連絡下さい。

【副作用被害救済制度への問い合わせ】
 (独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
 TEL.0120-149-931(フリーダイヤル)



Nankai 南海化学株式会社
 本社：〒550-0015 大阪市西区南堀江1-12-19 TEL (06) 6532-5593
 製造販売元・土佐工場：〒780-8010 高知市棧橋通4-10-1
 TEL (088) 831-6191
<http://www.nankai-chem.co.jp/>



無機系プール用殺菌消毒剤 第2類医薬品
スタークロン®Pシリーズ

無機系殺菌消毒剤 食品添加物
スタークロン®シリーズ

第2類医薬品

スタークロン®
Pシリーズ
無機系プール用
殺菌消毒剤



第2類医薬品 **スタークロンPT**

【成分】 日本薬局方サラシ粉(次亜塩素酸カルシウム)
(有効塩素70.0~77.5%)
【剤型】 20g錠剤
【包装】 20kg(20g×100錠×10袋)
【特長】 3~4時間かかって徐々に溶けながら
殺菌消毒効果を維持します。



第2類医薬品 **スタークロンPG**

【成分】 日本薬局方サラシ粉(次亜塩素酸カルシウム)
(有効塩素70.0~77.5%)
【剤型】 顆粒剤
【包装】 20kg(2kg×10袋)
【特長】 15~30分の短時間で溶け、散布直後から速やかに
殺菌消毒効果を発揮します。除藻にも効果があります。



第2類医薬品 **スタークロンPT100S**

【成分】 日本薬局方サラシ粉(次亜塩素酸カルシウム)
(有効塩素70.0~77.5%)
【剤型】 100g錠剤
【包装】 20kg(100g×50錠×4袋)
【特長】 大型錠剤のため、長時間安定した殺菌消毒効果が
維持でき、充填の手間がはぶけます。



第2類医薬品 **スタークロンPT200S**

【成分】 日本薬局方サラシ粉(次亜塩素酸カルシウム)
(有効塩素70.0~77.5%)
【剤型】 200g錠剤
【包装】 20kg(200g×10錠×10袋)
【特長】 大型錠剤のため、長時間安定した殺菌消毒効果が
維持でき、充填の手間がはぶけます。



食品添加物

スタークロン®
シリーズ
無機系
殺菌消毒剤



食品添加物 **スタークロンT**

【成分】 次亜塩素酸カルシウム
(有効塩素70~77.5%)
【剤型】 20g錠剤
【包装】 20kg(2kg×10袋)
【特長】 3~4時間かかって徐々に溶けながら
殺菌消毒効果を維持します。



食品添加物 **スタークロンG**

【成分】 次亜塩素酸カルシウム
(有効塩素70~77.5%)
【剤型】 顆粒剤
【包装】 20kg(2kg×10袋)
【特長】 15~30分の短時間で溶け、散布直後から
速やかに殺菌消毒効果を発揮します。



食品添加物 **スタークロンT100S**

【成分】 次亜塩素酸カルシウム
(有効塩素70~77.5%)
【剤型】 100g錠剤
【包装】 20kg(5kg×4袋)
【特長】 大型錠剤のため、長時間安定した殺菌消毒効果が
維持でき、充填の手間がはぶけます。



食品添加物 **スタークロンT200S**

【成分】 次亜塩素酸カルシウム
(有効塩素70~77.5%)
【剤型】 200g錠剤
【包装】 20kg(200g×10錠×10袋)
【特長】 大型錠剤のため、長時間安定した殺菌消毒効果が
維持でき、充填の手間がはぶけます。



スタークロンは
プールの快適環境づくりを
トータルにサポートします。

清潔で安全なプールを維持するために
必要なノウハウのすべてが南海化学にはあります。
シーズンを問わず、屋外でも屋内でも
遊泳用、競技用、学校用など
豊富なラインナップを誇る「スタークロン」が
あらゆるニーズにお応えします。

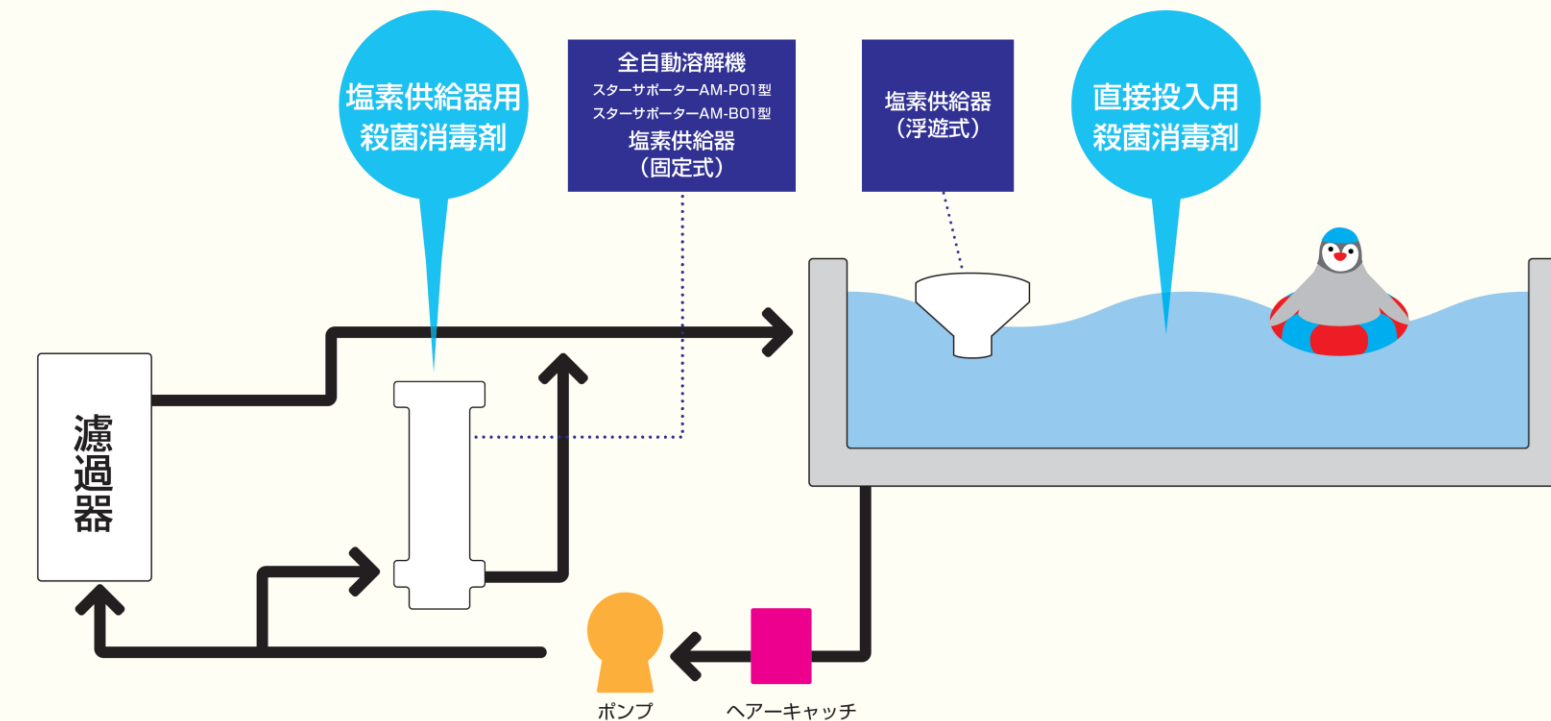
塩素供給機器



*塩素供給器(浮遊式)については米国
Pentair Water Pool and Spa社の製品です。

NSB-02型

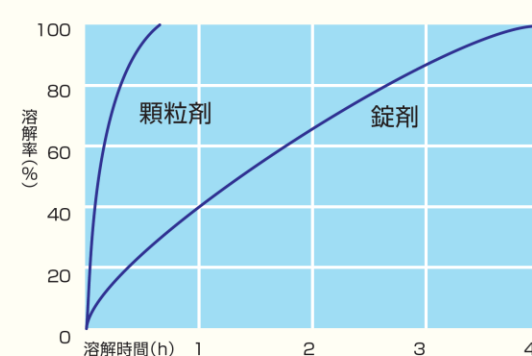
POOL SYSTEM



プールへの使用方法

プール水の殺菌消毒

- 直接投入
 - 錠剤を使用の場合は、プール水4~5m³に錠剤1錠(20g)の割合でプール使用の20~30分前に投入してください。プール水中で3~4時間かけて溶けるので、効力は約3時間持続します。プールを長時間使用する時は、3時間毎または午前、午後に関1回投入してください。
 - 顆粒剤を使用の場合は、プール水100m³当たり150gをプール周囲から均一に散布するか、ポリバケツ等で溶解したのち散布してください。効力は約1時間持続します。プールを短時間しか使用しない時、または残留塩素をすぐに上昇させたい時などに便利です。
- 塩素供給器(固定式)
 - プール水100m³当たり錠剤で700~900gの割合で自動塩素供給器(固定式)に充填して運転してください。プール水の残留塩素濃度は、流量調節バルブにより水量を調節して保持してください。自動溶解機をご使用の場合は、適当量を薬剤筒に充填して運転して下さい。



プール水量に対する殺菌消毒剤の使用量

プール水の容量 (m³)	直接投入		塩素供給器(固定式)	
	顆粒剤 投入量(g)	錠剤(20g錠の場合) 第1回投入量(錠) 追加量(錠)	錠剤(20g錠の場合) 錠剤(錠)	充填量(錠)
100	100~150	20~30	15	35~45
150	150~225	30~45	22	52~67
200	200~300	40~60	30	70~90
250	250~375	50~75	37	87~112
300	300~450	60~90	45	105~135
350	350~525	70~100	52	122~152
400	400~600	80~120	60	140~180
500	500~750	100~150	75	175~225
600	600~900	120~180	90	210~270
700	700~1,050	140~210	105	245~315
800	800~1,200	160~240	120	280~360
900	900~1,350	180~270	135	315~405
1000	1,000~1,500	200~300	150	350~450

*プールに新しい水を入れた場合の投入量で、残留塩素を0.4~1.0mg/L程度にするための目安です。投入後の残留塩素は必ず確認してください。

使用中プール水の残留塩素を任意に上げたい

プール水の容量 (m³)	スタークロン顆粒剤使用量(g)			
	残留塩素の希望上昇量(上昇分)			
	0.1mg/L	0.2mg/L	0.3mg/L	0.4mg/L
100	14	29	43	57
150	22	43	65	86
200	29	57	86	114
250	36	72	107	143
300	43	86	129	171
350	50	100	150	200
400	57	114	172	228
500	72	143	215	286
600	86	172	257	343
700	100	200	300	400
800	114	229	343	458
900	129	257	386	515
1000	143	286	429	572

例) 350m³(立法メートル)で残留塩素を更に0.2mg/L上昇させたい時は、顆粒剤を100g投入してください。直接投入方式では、できるだけ拡散するように投入して下さい。

足洗い場および腰洗い槽

- 足洗い場および腰洗い槽の残留塩素は50~100mg/Lが適当とされています。
- 水1m³当たり、錠剤(20g)10~15錠を午前、午後、各1回投入して下さい。
- 顆粒剤使用の場合、朝、水1m³当たり150gを投入。1.5~2時間毎に70g~80gずつ追加投入して下さい。

★足洗い場および腰洗い槽の排液はチオ硫酸ナトリウム(ハイポ)などで中和してから放流してください。

プールの水質基準	遊泳用プールの衛生基準 厚生労働省(平成19年5月28日)	学校環境衛生基準 文部科学省(平成21年3月31日)
水素イオン濃度(pH)	pH値5.8以上、8.6以下であること	pH値5.8以上、8.6以下であること
濁度	2度以下であること	2度以下であること
遊離残留塩素濃度	0.4mg/L以上であること また、1.0mg/L以下であることが望ましいこと	0.4mg/L以上であること また、1.0mg/L以下であることが望ましいこと
二酸化塩素による消毒の場合	二酸化塩素濃度は0.1mg/L以上、0.4mg/L以下 亜塩素酸濃度は1.2mg/L以下	〔塩素剤の種類は、次亜塩素酸ナトリウム液、次亜塩素酸カルシウム又は塩素化イソシアヌル酸のいずれかであること〕
過マンガン酸カリウム消費量(有機物等)	12mg/L以下であること	12mg/L以下であること
大腸菌	検出されないこと	検出されないこと
一般細菌	200CFU/mL以下であること	1mL中200コロニー以下であること
総トリハロメタン	暫定目標値として概ね0.2mg/L以下が望ましいこと	0.2mg/L以下であることが望ましい
循環ろ過装置の処理水	- (※注)	循環ろ過装置の出口における濁度は0.5度以下であること また、0.1度以下であることが望ましい

注) 遊泳用プールの衛生基準では、循環ろ過装置の出口における濁度については、浄化設備の施設基準と維持管理基準の項目中に、「循環ろ過装置の処理水質は、その出口における濁度が、0.5度以下であること(0.1度以下が望ましいこと)また、循環ろ過装置の出口に検査のための採水栓又は測定装置を設けること。循環ろ過装置の出口の濁度の検査を行うことにより、浄化設備が正常に稼働していることを確認すること」と規定されています。

15~30秒間で病原菌を殺すのに必要な塩素濃度(蒸留水中)	
0.10mg/Lで死滅	チフス菌、赤痢菌、コレラ菌、ブドウ球菌
0.15mg/Lで死滅	ジフテリア菌、脳脊髄膜炎
0.20mg/Lで死滅	肺炎球菌
0.25mg/Lで死滅	大腸菌、溶血連鎖球菌
0.41mg/Lで死滅	アデノウイルス(※プール水使用)

*東京都立衛生研究所ウイルス研究科:研究年報(社団法人 日本プールアメニティ施設協会「水泳プール総合ハンドブック」H21年5月初版より)
*レジオネラ属菌については、遊離残留塩素濃度を1日2時間以上0.2~0.4mg/Lに保つことが望ましいとされている。(厚生労働省「循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアル」より)